

ご存知ですか？この人。～あの人・自分 Watchingで親交を深めよう～

●行動タイプ：パッションタイプ ●どんな人？：努力と根性の日本人の鏡 ●言われて好きな言葉：プロ意識が高いね、不言実行、全力投球 ●タブー：連絡・相談・報告の強要、手抜き行為 ●思考：状況判断型 ●仕事の傾向：何かに打ち込むとトコトン取り組み、最後までやり通す努力化。仕事でも妥協は絶対に許しません。その努力は無欲、純粋で根気よくコツコツと積み重ねていきます。また努力は人に評価されるものではない、努力は影ですものという思いが強く、努力を人に見せることはしません ●能力：自分でキャッチした情報や、他の人から聞いた情報などを吸収し、自分のモノに変えていく吸収力。今あるものに興味がなく、今ないものを考える想像力 ●今後：持ち前の職人気質を活かして、コツコツと努力を重ねていけば、また新たな才能が花ひらくかもしれません。クリエイティブな心とプロ意識でいつまでも屈託のない純粋な素直さが周りの人を惹きつけます。

今週のこの人 / 宮沢正美・1949年 5月10日生れ

ISD ビジネスロジックマスターインストラクター / チェリースター(株)小野美貴 先生

● 会長挨拶

会長 高原敏廣君

いよいよ会長挨拶も今月で終了です。拙い話をしましたが、お許しください。

2016年から8月に祝日「山の日(8月11日)」が設けられ、唯一祝日のない月となってしまった6月(水無月)です。以前より「時の記念日(6月10日)」や「夏至(6月21日頃)」の休日化を目指す動きもあるようですが、8月に先を越された形。

さて、「日が長くなったなー」と感じるのも夏至を迎える6月ならでは。いよいよ一年の折り返し点です。この折り返しを迎え、「もう半年」と思う方もいれば「まだ半年」と感じる方もいると思いますが、一般的に年をとればとるほど、時の流れは速く感じると言われています。

では、どうして若い人と年齢を重ねた人の感じる時間の長さが違うのでしょうか？「ジャンネーの法則」によると生涯のある時間における時間の心理的長さは年齢に逆比例する。例えば、50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の1ほどであるが、5歳の人間にとっては5分の1に相当する。5歳の人の1日は50歳の人の10日に当たることになる。他方、同じ一時間でも生物によって時間感覚は異なる。それは人と人の間でも同じことが言えるかもしれない。「生物の時間は体重の4分の1乗に比例する」生物的時間の長短に関係なく、哺乳類が一生に動く心臓の回数:鼓動は約20億回らしいです。呼吸は鼓動4回に対し1回なので、呼吸数は5億回になります。

何を言いたいかというと、歳を取れば動作も遅くなり、一時間に5回出来たことが、3回になり同じことをするのにより時間がかかり一日が短く感じるようになり、時間は短く感じるようになる。(自説)

● 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	35/42	83.33%	37/42	88.10%
今回	36/44	81.82%	会員総数:47名	

<欠席者>

・伊丹君 ・佐藤君 ・杉山君 ・高木(基)君 ・高木(速)君
・土屋君 ・松田君 ・山本君

スマイルBOX

● 稲葉 良弥君

5月30日、クラブ研修リーダー委員会として新会員とそのスポンサーとの研修会及び親睦会を昭明館で行い渡辺脩助パストガバナー、小野毅氏のご協力の下に7名で有意義な時間を過ごしました。

● 幹事報告

幹事 加藤頌吾君

①本日はクラブ協議会で、クラブ委員会報告です。宜しくお願致します。

②例会終了後 理事・役員会が有りますのでいつもの部屋にお集まり下さい。



委員会報告

管理運営委員会

委員長 堀内満喜子君

管理運営委員会は、副委員長に小沼孝次君・委員に綾部哲雄君・谷村宏勝君の4名で活動をしてきました。今年度の初めに「出席・クラブ会報・親睦活動・プログラム」の各委員長さんとの連携を図る話し合いの場を設け、クラブ内部の運営を効率的・効果的に行うよう心掛けてきました。それぞれの委員会が年度初めに掲げた目標は遂行できたと思っています。一年間ありがとうございました。

クラブ会報委員会

委員長 青田守弘君

目標として「必ず読んでいただける週報作り」を目指しました。

そのために、会員それぞれの似顔絵と個性分析を紹介し、興味深い紙面づくりができたと思います。結果、皆さんに会報の発行を楽しみにしていただけました。

似顔絵を描いていただいた山本雅弘君、原稿制作をお手伝いいただいた山田敏博君、木下晋一君ご協力ありがとうございました。

公共イメージ向上委員会

委員長 山岡修一君

今年度、地区の方針から「広報・IT委員会」が、「公共イメージ向上委員会」に名称変更しました。“公共イメージを向上しよう”という背景には公共イメージが低い(悪い)からなのか、もっと公共性を高めたいとの思いからなのか?皆に聞いてもRCの知名度が低い事は事実の様です。

知名度を上げる方法で、メディア(新聞・TV)に報じてもらう事は大きな反響があります。プレスリリースをいくつか実施しましたが、メディア側は、ひとりよがりだったり、代り映えのしないワンパターンの内容だったり、どれだけの公共性(地域性・社会性)を持つコンセプトの活動かにより取り上げ方が違って来る様です。～ボツが多いのでは～メディア側も話題性、心温まる内容、素晴らしいテーマと挑戦(活動)は必ず紹介してくれる様です。RCが地域に密着した奉仕活動を目指す時、社会(公共)のイメージも向上するのではないのでしょうか。

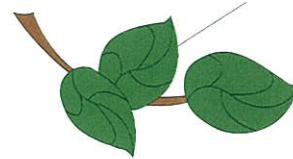
次年度星野Gの地区方針に地域社会のために奉仕活動をする事を通じて『ロータリーの公共イメージの向上』を図ろうと謳っております。某君の「公共ダメージ」との揶揄(やゆ)にならぬ様、次年度に期待を込め、これといった活動がなかった一年を反省します。

職業奉仕委員会

委員長 浅倉幸久君

本年度、職業奉仕委員会としましては、

- 1.四つのテストの唱和
 - 2.優良事業所の職場見学
 - 3.職業奉仕セミナー
 - 4.職業奉仕の理念の話し合い
- とテーマを決定しました。優良事業所の職場見学(職業奉仕セミナー)としまして、2018年1月20日長泉町ファルマバレーセンターに伺い、説明を受けました。多数の皆様のご参加誠にありがとうございました。



ロータリー財団委員会

委員長 久保田伸治君

○地区補助金の活用・・・地区補助金は地区内79クラブ中66のクラブから申請があり、総額\$ 94,120で交付時レートを110円/\$として10,353,200円となります。わがクラブでは社会奉仕委員会から『ロサンジェルス・リトル東京に桜を植えよう』と題し、伊豆特産桜種子を2Kgほど提供しました。

○グローバル補助金の活用・・・人道的プロジェクトで経年事業として三島RCが中心となり静岡第2分区の6クラブと静岡の3クラブとで9クラブが協力して、スリランカの地方の小学校へ安全な飲み水の提供と衛生設備トイレの設置を施行し、この5月に竣工しました。総事業費は約700万円でした。

○年次基金・・・地区目標は\$ 150/人ですがわがクラブは\$ 100/人×50名です。

○ベネファクター・・・恒久基金へ\$ 1,000寄付をクラブで1名以上を継続して募っています。

○大口寄付者・・・寄付の合計が\$ 10,000の達した会員を大口寄付者として認証し、継続して募っています。

○ロータリーカード・・・3種類のカード利用加入を募りました。スタンダードカード申込者5名と1名の法人カード加入の申込者がありました。オリコロータリーカード申込の際に個人情報(住所)の書込みがありますので、納得の上登録してください。

○ポリオプラスへの貢献・・・世界ポリオデー10月24日を前に、21日に公共イメージの向上委員会と共に、インターアクト生徒先生12名含め3クラブ協働で、イトーヨーカードー店入口にて『ポリオ撲滅キャンペーンPR活動と募金』の街頭キャンペーン活動を行いました。募金額43,380円はポリオ基金に寄付されました。

○ファイル作成・・・ロータリー財団は2013年7月から「Future Vision Plan未来の夢計画」として世界全地区で新制度に移行されました。全様が解かるように小ファイルにしました。研修の材料として利用してください。